

会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成24年度第1回 瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会
開催日時	平成24年11月9日(金) 午後1時30分～午後2時21分
開催場所	高松市役所 11階114会議室
議 題	(1)瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会規約の変更(案)について (2)瀬戸・高松広域定住自立圏の取組状況について (3)瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定の変更について (4)その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	会長 大西秀人, 副会長 大浦澄子, 大山茂樹委員, 間嶋三郎委員, 藤井秀城委員, 田中貞男委員, 岡田好平委員, 三枝邦彦委員, 竹内章介, 秋長正幸委員, 筒井敏行委員, 古市弘委員, 濱田孝夫委員, 蓬清二委員, 藤井賢委員
傍 聴 者	0 人 (定員若干名)
担当課および 連絡先	政策課 (839-2135)

会議経過および会議結果

会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。

(1)瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会規約の変更(案)について

規約の変更(案)について、事務局から説明し、承認を得た。

(2)瀬戸・高松広域定住自立圏の取組状況について

取組状況について、事務局から説明し、次のとおり意見があった。

(委員)

イベント交流の促進においては、中心市の役割が「周辺市町が実施する祭りや各種イベントなどの周知宣伝活動を行うとともに、相互交流を促進する」とありますが、三木町のイベントを高松の中心部で広報したことで、住民以外の参加者もあり、効果があったと思っています。

(会長)

イベント交流の促進については、同じ圏域の中で協力して促進を図っていきたいと思います。

## 会議経過および会議結果

(委員)

情報の中継ではなく、中心市の役割として、相互交流とあるので、新年度に向かってより積極的に行っていただきたいと思います。

(委員)

資料では、まだ「周辺市町」となっているようですが。

(事務局)

本日で規約改正となりましたので、今後は「連携市町」といたします。

### (3) 瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定の変更について

協定の変更内容について、事務局から説明し、次のとおり意見があった。

また、変更内容について、了承された。

(委員)

使用済小型電子機器等リサイクル事業について、どんな形で連携、実施していくのか、各市町がどこへ集めるのか、具体的なところをお伺いしたいと思います。

(事務局)

まだ、具体的には決まっておられません。収集について連携することが決まっており、具体的には平成25年度に入ってから、各市町と協議を進めていくこととなります。

(会長)

一定量がないと、リサイクルには回せないなので、まず、それぞれで収集していただいて、全体としてリサイクル業者へ引き渡していく仕組みになると思います。今後、十分相談させていただきたいと思います。

### (4) その他

日中韓共同製作ドラマ「フルハウス TAKE 2」の日本・韓国のテレビ放映等について、事務局から説明し、次のとおり意見があった。

(委員)

高松市と小豆島だけのロケのようで、他の各市町には、相談がなかったです。

(会長)

定住自立圏でのメリットということで、高松市が働きかけて、香川県観光協会が中心となっている実行委員会が、韓国からのロケ班を案内し、実際どこをロケ地にするのかは、ロケ班がドラマの話と合わせて決定するので、こちらが指定するわけではございません。

当時、直島には、ロケ班は行ってなかったようです。

(委員)

10月29日から放映されているらしいですが、視聴率は分かっているのですか。国際的な問題もあり、どのような感触なのですか。

(事務局)

視聴率の情報は入ってきていませんが、改めてどのような状況かリサーチしていきたいと思います。

また、韓国では無事放映されていますが、中国での放映は未定とのことであります。契約上は中国でも放映するという事になっており、状況を見守っている状況であります。

(委員)

広域定住自立圏構想の協定は、中心市と連携市町とのそれぞれの協定なので、高松市との関係は協定の中でカバーできますが、高松市以外との関係は、ワンクッション経由してになります。事務的にはどうしたらいいのか分かりませんが、他の連携市町と事業をする際に、各市町にも情報がいただけるよう、縁があって連携しているので、今後検討していただきたいと思います。

(事務局)

広域定住自立圏の中心市と連携市町の1対1の連携ですので、掲げている取組は個別のやり取りになりますが、事業を新たに取り組んでいこうという時には、例えば、他の市町からアイデアが出た時は、各市町にも情報を流して、一緒にやりませんかと提案しています。

それから、イベントとかの御案内については、こちらから各市町に情報共有のために流せるので、積極的にやっていきたいと思います。

(会長)

せっかく圏域でやっているのです、お互い必要な情報交換は積極的にやっていきたいと思います。特にイベント交流では、圏域の市町には積極的に情報を流していきたいと思います。

以上をもって本日の会議を終了することとした。